

2010年
6月3日

発行 日本共産党流山市議団
電話・ファックス
715716140

国民の期待に応え 責任ある政治を

「民主にガツカリ」
国民世論で首相辞任へ

参院選を目前に鳩山首相が辞意を表明。沖縄県民の総意、国民の民意よりもアメリカを優先する政治への怒りが、激動の情勢に新たな展開をつくり出しています。そんななか、日本共産党は、志位委員長が訪米、普天間基地の無条件撤去を求めて、アメリカ政府と直談判しました。また、口蹄疫問題や新卒者の就職難、保育園待機児の増大など、解決策を提案し、実現のために全力をあげています。いま程、アメリカや財界・大企業に物いえる政治が求められている時はありません。参議院選挙でのご支援をお願いします。

6月市議会では、市民世論の高まりにおされ、保育園新設計画が追加される一方、身体障害者センターの民間運営移管に反対の声が広がっています。引き続き、市民の声をリアルに取り上げ、国政と市政を結び、市民の期待に応えられる政治の実現へがんばります。議会傍聴にぜひ、お出かけください。

会期 6月3日～6月23日 21日間

(議案10件、陳情7件・意見書7件他)

6月 3日(木) 本会議 午後1時開議

8日(火)～10日(木)

一般質問 午前10時～

11日(金) 一般質問 午前10時～

一般質問終了後、各委員会に議案を付託

14日(月) 総務委員会

15日(火) 教育福祉委員会

16日(水) 市民経済委員会

17日(木) 都市建設委員会

23日(水) 本会議 午後1時開議

議案・請願・陳情・意見書など採択

一般質問

小田桐たかし議員 6月9日(水) 午後3時頃

- 1、TX沿線巨大開発について、市長の見解を問う。
①の見直し作業中である西平井・崎ヶ崎地区について問う。
- 2、運動公園地区や木地区に対する見解を問う。
①教職員における長時間過密労働の解消など現場の応援する体制の構築、制度創設・充実について
②本市におけるALITの取組み状況と成果、今後の方向性について
③地デジテレビの導入において、市内企業への発注結果について
- 3、子どもの福祉について
①保育行政をめぐる諸課題について問う。
②十太夫児童センターについて問う。
③難病を抱える子どもが在宅で日常生活を送る場合の支援について

高野とも議員 6月10日(木) 午前10時頃

- 1、中小企業対策について市長に問う。
①地域経済とまちづくりにおいて中小企業の果たす役割をどうとらえているのか。
②中小企業を本格的に支援する市政をどう推進していくのか。

- (ア) 「産業振興条例」をどう生かしていくのか。
(イ) 予算の拡大と職員体制の充実について
(ウ) 生活密着型公共事業への転換について
- 2、水道行政について
①沿線開発が予定通りすすまない中、今後の事業計画をどのように展望しているのか。
②「節水型」を基本とした料金体系に見直すべきではないか。

- ③開栓・閉栓時の手数料について

徳増きよ子議員 6月10日(木) 午前11時頃

- 1、就職難打開の対策について市長に問う。
①新卒者等の就職難が社会問題になっているがどうとらえているのか。
②臨時職員の正規雇用への転換など、市における就職難打開の対策について問う。
- 2、社会福祉行政について
①「保護要件を満たし、受給する意思ある方が保護を受けられないことがあってはならない」との厚労省通知について
②「住宅手当緊急特別措置事業」の拡充について国に要求すべきではないか。
- 3、住民の足確保対策について
- 4、東部地域のまちづくりについて

いぬい紳一郎議員 6月10日(木) 午後1時頃

- 1 経済危機から国民の暮らしを守るために政治は何をすべきか、市長の見解を問う。
- 2、行政改革について問う。
① 駅駐輪場の指定管理者による管理の実態について
② 「官から民へ」を推進する指定管理者制度は抜本的に見直すべきではないか。
- 3、国民健康保険について問う。
① 保険料について市長に問う。
(ア) 市独自の国保会計への財政支援を増やし、保険料を引き下げろべきではないか。
② 滞納者への保険証取り上げについて
(ア) 生活困窮を理由とする滞納に対しては、保険証を発行すべきではないか。
③ 政府がすすめる国保広域化の指針について問う。

ぜひ傍聴にお出かけください

市議会議員 高野とも (7155-1683)
市議会議員 いぬい紳一郎 (7159-2773)
市議会議員 小田桐たかし (7154-0878)
市議会議員 徳増きよ子 (7148-6871)